

令和8年度 高山市立栃尾小学校経営構想

《高山市の教育の方針と重点》

教育の方針：未来社会を創造する資質・能力を身に付け、学び続ける子の育成
教育の重点：自分らしく一歩を踏み出し 乗り越え、挑戦する子

《地域の願い》

人の心の痛みを知り、困難にくじけずに立ち向かっていける子

《学校の課題》

- ・学習の定着ができるよう、個別に丁寧な指導が必要である。
- ・うまくいかなかったときに、途中であきらめてしまうことがある。
- ・挨拶を自分からできないことがある。

学校教育目標 ふるさとを愛し 心豊かに自立する子
考えをつなぐ 心をつなぐ 元氣をつなぐ

目指す学校像 児童が主人公で、笑顔いっぱいの栃尾小学校

学校での笑顔

- ☐ 学ぶ楽しさを感じたとき ☐ 発見する楽しさを感じたとき ☐ 挑戦する楽しさを感じたとき
- ☐ 仲間と過ごす楽しさを感じたとき ☐ 互いの個性を認め合ったとき ☐ 行事の楽しさを感じたとき
- ☐ 先生と過ごす楽しさを感じたとき ☐ 地域の方と過ごしたとき ☐ 失敗から学んだとき etc

学習づくり（学習・研究推進）

「やってみたい」「もっと考えたい」「解決したい」と意欲や関心をもって学び続ける子の育成

- ☐ 「分かった」「できた」を実感できる授業づくり
- ・ワクワクする課題づくりと交流の出口の姿の共有
- ・学習規律の醸成と学び方指導
- ・本時の「分かった」「できた」の振り返り
- ☐ 相手意識・目的意識をもたせた対話指導
- ・相手意識・目的意識をもたせる話型指導
- ・根拠を大切にしたい対話（対話は授業の50%以上）
- ☐ 基礎的な学力の向上のための反復練習
- ・授業終末の習熟時間の確保
- ・朝活動でのドリル学習
- ☐ ICTや図書資料等の有効的な活用

〔教師の姿〕

- 学習に見通しをもたせる教師
- 身に付くまで粘り強く指導する教師
- 児童が主人公になる授業を仕組む教師

北稜中校区三校の育てたい資質・能力
対話を通して 自分の考えをつくり 動き出す力

少人数を生かす
たてわりを生かす

生活づくり（特別活動・保健安全）

「こうなりたい」「もっとよくしたい」と願いや目標をもって挑戦し続ける子の育成

- ☐ 自己有用感を育む特別活動
- ・家族や担任との対話による「なりたい自分」の設定と振り返り
- ・よいことみつけの視点の共有と価値付け
- ・成果や成長の可視化
- ☐ 主体的・自治的な特別活動
- ・思いや願いからつくる学級や学校の楽しい活動の工夫
- ・委員会活動、朝活動、スマイル栃っ子タイム、掃除等を通しての自治力の育成
- ☐ 自分や他者を大切にする心の教育の推進
- ・心のアンケート、マイサポーター制の充実
- ・複式学級や全校での道徳教育、人権教育の充実（全教育活動を通して）

〔教師の姿〕

- 児童を正しく理解し、寄り添う教師
- 励まし、価値付け、導き、伸ばす教師
- 児童の笑顔と感動を創造できる教師

1年間を4ステージ制に分割し、育てたい資質・能力を段階的に具現する

【特色ある教育活動】

- ☐ ふるさと学習を核とした地域との連携（地域の題材を活かした学習、及び体験的活動の推進）

☆アウトプットにより学びを深めるとともに、発信力を高める。

☆地域の方々に守られ、支えられていることを実感し、感謝する心を醸成し、感謝する場を設定する。

- ☐ 本郷小学校との交流の充実（海の子山の子交流、宿泊研修、合同探究学習、オンライン授業など）
- ☐ 起こり得る健康被害（焼岳噴火を含む防災、交通事故、学校事故、保健衛生等）に対する保健安全教育の充実

☆教職員は地域の宝を預かっていることを強く心にし、常に危機感をもって組織で対応する。